

つたえる地域 つながる地域

語学研修の成果発表

八戸

八戸学院光星高(小野崎龍一校長)で16日、在札幌米国総領事館のレイチェル・ブルネットーチェン首席領事と同校生徒との交流会が行われ、海外語学研修を経験した3年生20人が、自らの体験を発表したり、ブルネットーチェン氏と意見交換したりした。

同総領事館は、北海

光星高生 米首席領事と交流

道と青森、岩手、秋田、宮城の4県を管轄。今回、同総領事館側から同校と交流会を開きたいとの要望があり、開催が実現した。ブルネットーチェン氏が八戸市を訪れるのは初めて。

同校はフィリピンの語学学校「CNEI」と連携協定を結んでいる。交流会では、生徒を代表して堀合遥希さん、FOX真島新菜さん、磯崎音羽さんが、昨年11月と今年1月に行ったフィリピンでの語学研修の経験を披露。FOX真島さんは流ちょうな英語で、地元市場での買い物を通して学んだことなどを発表した。

ブルネットーチェン氏は、生徒たちに「素晴らしい経験をしたことが伝わった。完璧な英語ではなくても怖がらずにしゃべることが大事」とアドバイスした。

(稲村安莉)



レイチェル・ブルネットーチェン氏(左)と意見交換する生徒